

人手不足問題対策会議 個別ヒアリング構成員コメント（主なもの）

テーマ	コメント
奨学金	奨学金の補助期間延長、年齢要件の緩和について、当事者はとても助かると思う。社員のエンゲージメントも高まるのでは。
	奨学金返済支援制度の拡充は良い取組みなのでやるべき。顕彰制度と組み合わせることで支援を重点化することも良いこと。
	人材確保の観点から、大企業も対象にしてはどうか。その際、中小企業と差をつけるため利子補給制度を検討してはどうか。
	代理返還は所得税等の負担減にもなりいいと思う。支援制度について県外の調理師学校にアプローチする際にあわせてPRしたい。
理工系人材	科学塾は、理工系大学生やポスドクと県内企業が連携するところに特徴があり、県内就職につながることを期待できる。
高校生	高卒者は定着率が高い印象。高校生へのアプローチはいいと思う。担当教諭には産業の有望性等も含め理解してもらいたい。
	中卒者や、高校中退者に対し、働きながら夜間の学校で学べる環境づくりに取り組む企業を応援する制度があっても良い。
	寄付よりも学校・学科へのスポンサー制度（企業と学校の連携、授業の共同実施など）あれば、学生も親しみが湧くのでは。
外国人	外国人留学生への対策が少ない。外国人留学生合説について、今年度の状況をふまえさらに拡充すべきではないか。
	現地ジョブフェアの実施にあたっては、現地に強みのある企業と連携するとよいのでは。
	外国人雇用について、仲介業者が信用できない印象がある。県が保証してくれる優良業者などがあると良いと思う。
	外国人教育は中小企業にとって負担。N3相当の日本語能力や倫理的な面も含め、入ってくる外国人の質は担保されるべき。
多様な人材	当社（製造業）でも、例えば梱包・塗装や経理等事務は切り出しが可能で、ギグワーカーや短時間勤務者でも対応できる。
	多様な人材仲介について、専門人材相談センターのほか、若者・女性・シニア等含めて組織一元化し、戦略的に打ち出せないか。
	ひょうご専門人材相談センターの取組はとても良い。中小企業がよく利用するハローワークと連携し周知すると良いと思う。

テーマ	コメント
多様な人材	<p>障害者の採用について、今回の対策案の中では見られなかったが、今後の対策として必要ではないか。</p> <p>テレワークやワーケーションの促進、ワーキングスペースの整備で、居住は県内で、兼業・副業人材を集めてはどうか。</p>
生産性向上	<p>生産性向上について、伴走支援にとどまらず、設備投資への支援は一定必要だと思う。</p> <p>ひょうご PIC の取組みはすごく良い、是非進めて欲しい。伴走支援で、学生もチームに入れられないか。私も是非協力したい。</p> <p>DX 等に取り組むにあたり、国補助がある場合その裏のいくらかを県として補助すれば、効率的な支援になるのではないか。</p>
観光	<p>観光分野についても、外国人留学生確保に関する施策がキーになってくるのではないか。</p> <p>食など観光と関連する複合的要素を持つ学校へもアプローチすれば、企業としての幅が広がるのではないか。</p>
全体	<p>全体の方向性として賛成。ただし中小企業はマンパワー不足で、必要性は理解しつつも全施策に乗れと言われると難しい。</p> <p>打ち出し方は「弱者救済の部分は既に実施、その上で奨学金・理工系人材・外国人等の施策に取り組む」という見せ方が良い。</p> <p>パートナーシップ構築宣言参画企業に対し県発注の入札評価をプラスにするなど、賃上げを促進し雇用確保を促せないか。</p>